

208  
特別  
685

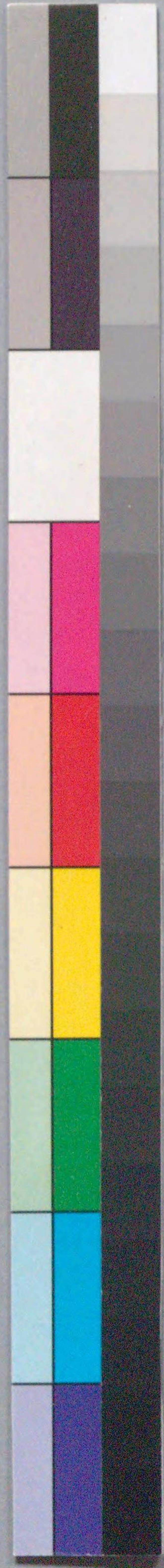
春色初旭の出  
三



国立国会図書館 春色初旭の出 4編 208-685

ガラス使用





208  
685

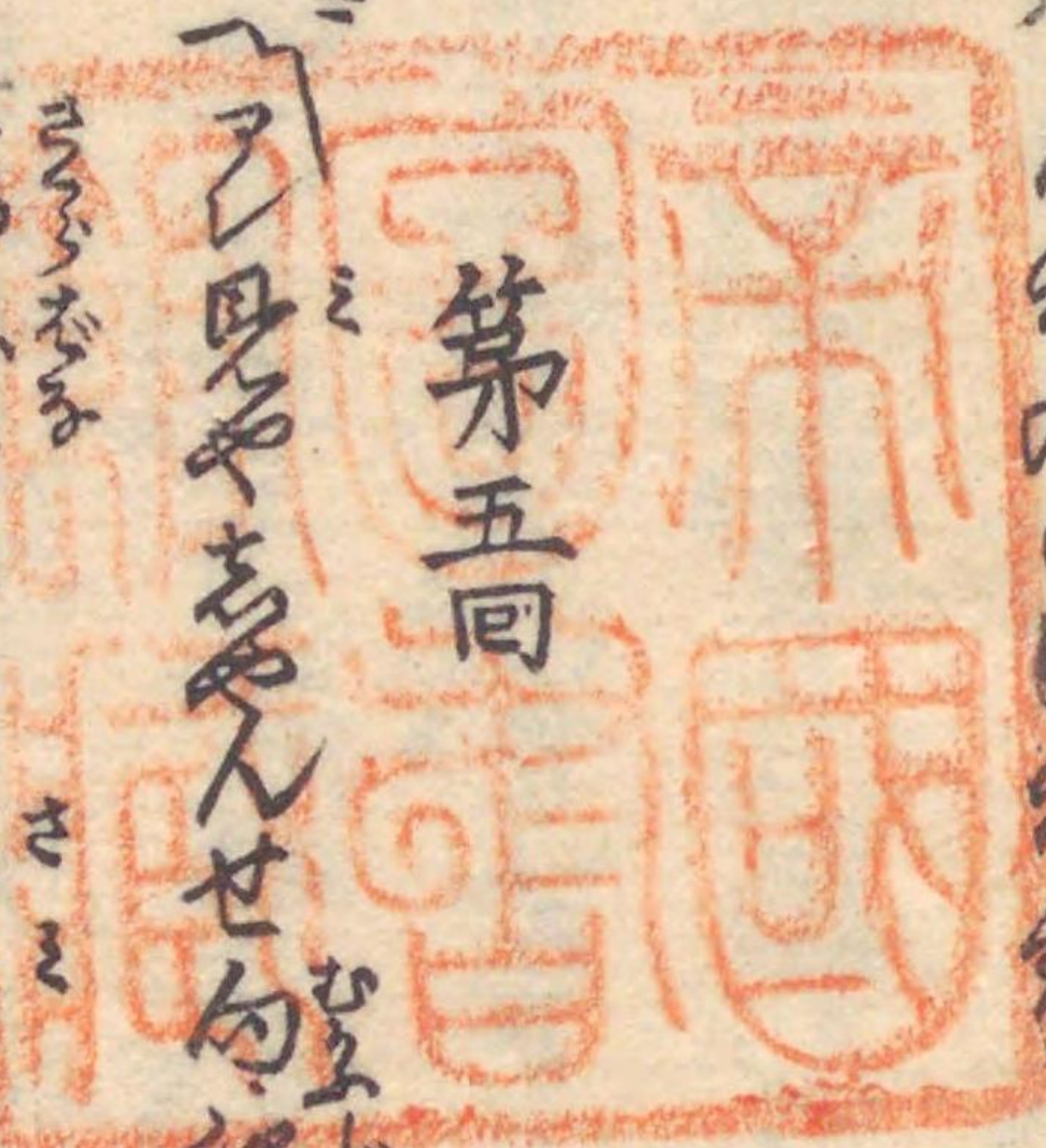






春色初旭の出初編下

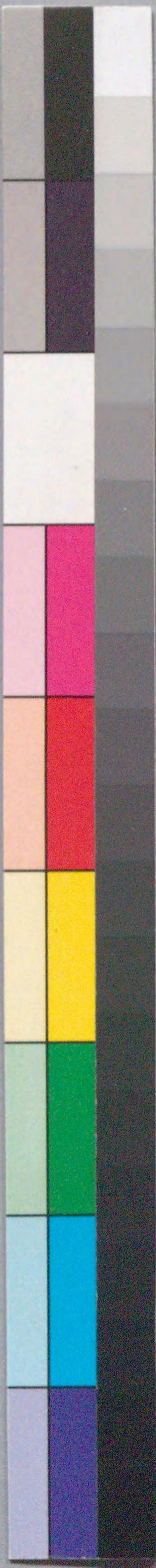
第五回



江戸 狂言亭春雅著



うゝ  
ア思やあんなせ向のりまう上中の所の氣色でも及びな  
ん様さひく三味せんも水調子料を小夜のわご反句と凡  
びき形をぬ黒木のきじでかどる物の音もなううたて嵐  
鳴き  
うたえう大分今日あつりハモシ来るからあれねへがさよぞ来





てらぬぶりのトニ味せとすハおまてもきまざるよと贈るを  
 付ちてアノお婆さん かい何とておまさん 何の  
 ちやアちやが克さんのおまさんの子おまア 子おまア  
 と目の冒わらうだとおひまーかハまー 引よヨも其時かごと  
 おつておまおちやア久くあるぬ大方船をアまき  
 身もあやうがけ方アまぬくのころよホニ悔ハ後おまらふ  
 ねト張合察ドのかんぎで髪のおらうとまきおまらふハまー  
 まらうとらけうおまが合能山採のお母をでまさんがいお

おねやとの一おまありておまをさるるころに 休まうのま  
 おまの眼が見えぬぬくく人ちげぶやアぬく 月におまさん  
 さんま真遠ひちのサおまをておまかー 船をののラハま  
 月におまさん姓おまのまらうとまらうに 月におまさん  
 おまのまらう月おまの時はおまの 月におまさん  
 月におまさん 月におまさん



おまさん

おまさん





















文でいふとあれお前も世のそとにおぼせり今も是を見よはし  
支方の産前のあふ前はうと捨てたあふもよもよも  
のんごぬへ光ナニサそふ〜と伏下アぬらうアアアア  
吾惚をきうたがききいふと縁らあわぬらう指を  
のうのあふもアアア吾の振るひもいもあふもいもいも  
とらあう〜とれ〜とあ〜とび〜と下女おけ振のそとあ〜と  
アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア  
父が〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と

やが接接もせびお其ま〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と  
あの手も小後つ〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と  
ら面あてせりふ〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と  
下で〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と  
何と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と  
お八重と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と  
か〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と  
おつ〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と





振子根も驚くぬるさし出して大方おぼが事ごと  
らひてこのころふんきからに振子根としてお終  
くで切れると又そのあつ何と方使れあつふのこ  
目するね及古と銀をふして獲りて実出さふとふ種  
おががくもねのいさ司や老さんそりやアお波ちびで  
つり中をうせ私やア実のあがお茶の更も只あるは只  
つりおれがあそ又外と同走者でも出来たりとおめや  
悔ふらうワイのふきあはぬのつらうお茶と束茶く

たの田の五下七

あしきふと思ふはあそ思ひるもあつり世更も思ふ  
甚脚も云あふしやアあつり更も思ふはア私う何うも思  
んで手切がきしるふらふら思ひあはまはあつりの思  
づしあわんちうあつりけんちうあつり思ふんく下初めの振子  
がアあんちう今の眼元も露海き世辺の美茶あつり増つやも  
ねあ果ち死なふんちうあつり思ふはあつり思ふはあつり思  
えぬて一光一のうくらよのやアねんがせんちうあつり思  
初めらうちうねしるふ入かどらア振も立移んの



























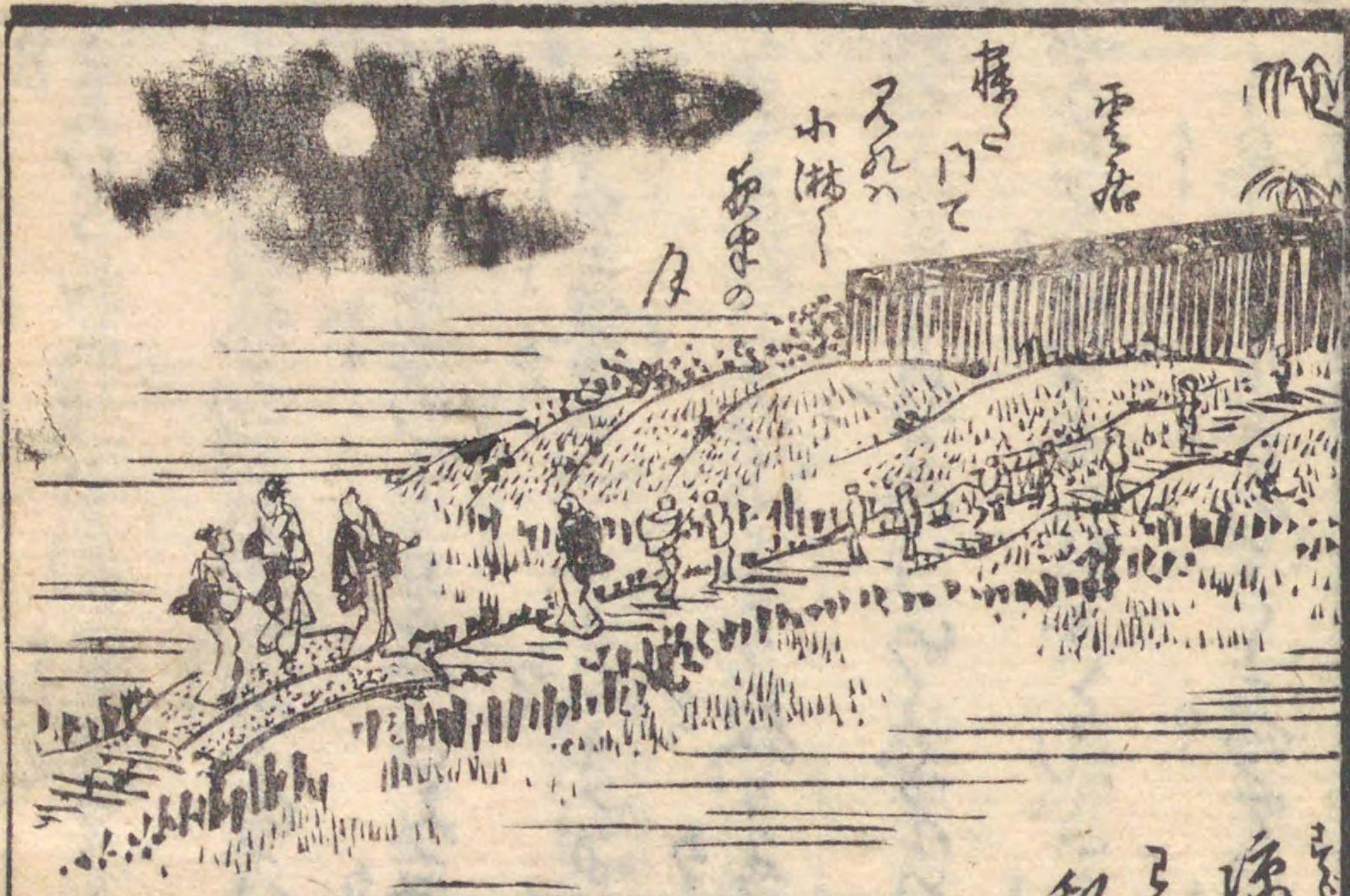
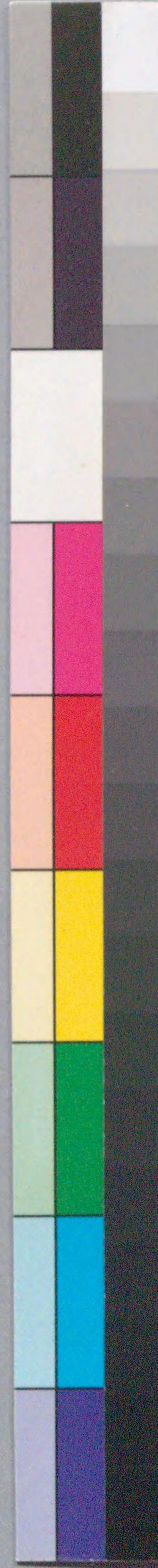


さへせんう子光 可、ちげへぬるふらぶよく似て居、ねん  
ト先は命ハ門先まで出て可ウをまは居、のいお茶代居、  
アねへ、  
あふうお、  
まごお前色と一糸よあめて居、ころまがたちや者かヨおち  
司、  
うそでま、  
さうてん、

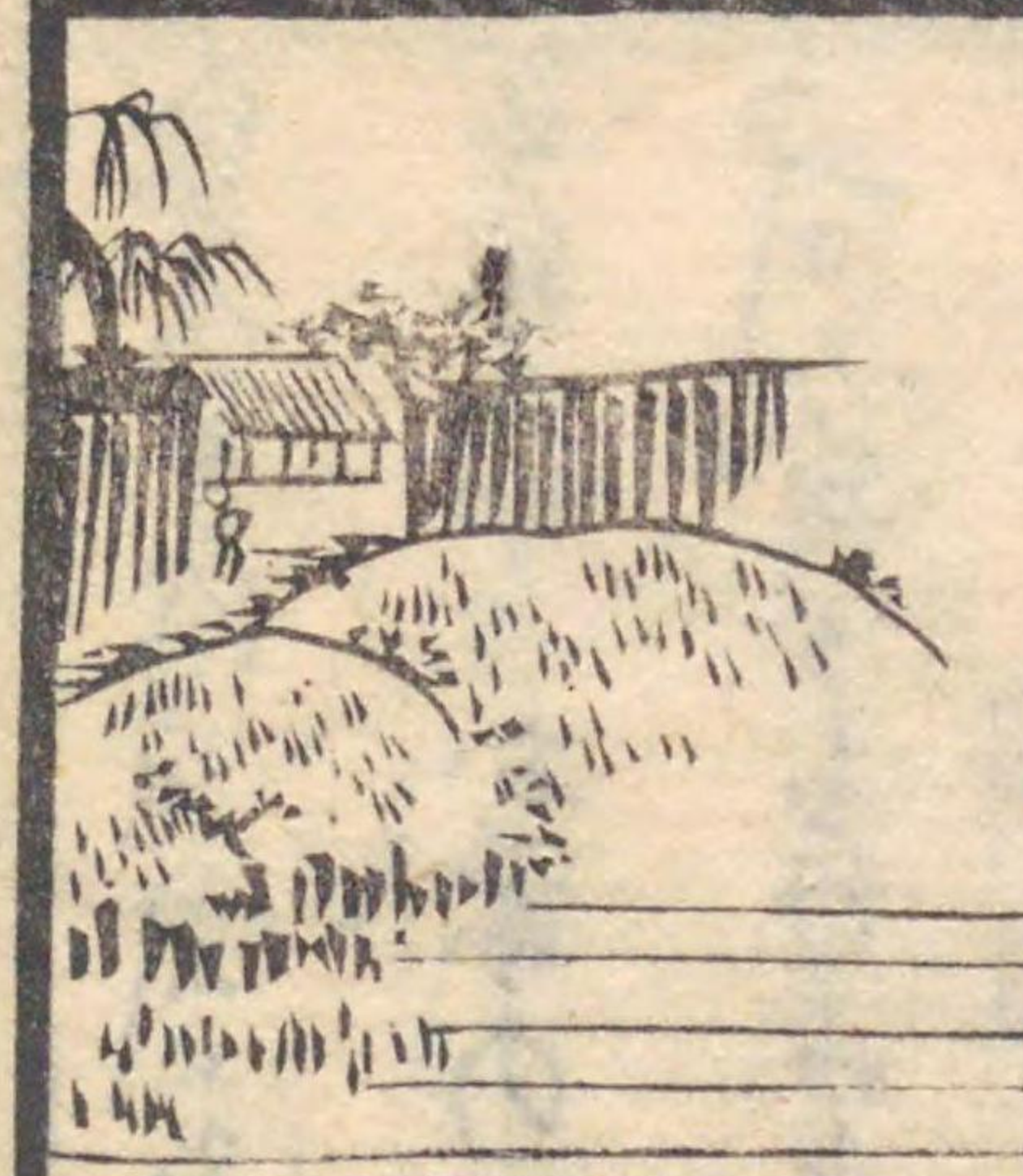
ま、  
それ、  
光、  
そ、  
て、  
あ、  
約、  
見、







藤とふお出ささるる子 史記や白昼  
 私どもも春ふ肉へおゆんちあつと  
 のく光 月金とく春ふゆり  
 だつと一寸とよつとひたさ  
 られとハヤ 川や貴留られさ  
 ねのんご 何れ私の指さる  
 附さる者でもまごさるのふろ  
 いさあかんヨホニニは美なる夏と



て田中の町の仲経までおれがふとさき新下ようけん相か  
 えくおれ女司や先さんちとアお待ト呼れて先びふハ  
 中あられーなごびつろうろく返る先司  
 私とゆふのいとねん女 月誰でもあ  
 私ごヨお二人しておあーみごよ先司  
 だれごとあつとアお八まさんナアニ  
 あんまり暑いうらぶらうと蛇足  
 物ねがう藤とふおこのサハま 川やよ





おたくねく光 可サ史事〜 生理小冊りやア 仕方がある  
おやアねくハ 可サ史事〜 生理小冊りやア 仕方がある  
おやアねくハ 可サ史事〜 生理小冊りやア 仕方がある  
おやアねくハ 可サ史事〜 生理小冊りやア 仕方がある  
おやアねくハ 可サ史事〜 生理小冊りやア 仕方がある  
おやアねくハ 可サ史事〜 生理小冊りやア 仕方がある  
おやアねくハ 可サ史事〜 生理小冊りやア 仕方がある  
おやアねくハ 可サ史事〜 生理小冊りやア 仕方がある  
おやアねくハ 可サ史事〜 生理小冊りやア 仕方がある  
おやアねくハ 可サ史事〜 生理小冊りやア 仕方がある

てやせく 可サ史事〜 生理小冊りやア 仕方がある  
おやアねくハ 可サ史事〜 生理小冊りやア 仕方がある  
おやアねくハ 可サ史事〜 生理小冊りやア 仕方がある  
おやアねくハ 可サ史事〜 生理小冊りやア 仕方がある  
おやアねくハ 可サ史事〜 生理小冊りやア 仕方がある  
おやアねくハ 可サ史事〜 生理小冊りやア 仕方がある  
おやアねくハ 可サ史事〜 生理小冊りやア 仕方がある  
おやアねくハ 可サ史事〜 生理小冊りやア 仕方がある  
おやアねくハ 可サ史事〜 生理小冊りやア 仕方がある  
おやアねくハ 可サ史事〜 生理小冊りやア 仕方がある





ア今般の事か前もひてくもがまんをてたまけり  
まけそんねんし先は前がまああるま谷子ハ重ナニ私  
だつと暗味中ではいささしと度もあつた子私とむん  
が違はてた方へ入違で焼籠を思ふ初とらふ一と  
たが一途な後がまてあつく中かまんが出来たあつく  
みあともあつて居てあつく人あづくはつと知れあ  
く大守海り田中らふとぬんが後小骨らつて居る  
ホニあんまうお茶とらふのい香煙をおかちでちん人あ  
く

私やうだまえことあふと真々悔しく成て居るト男の  
思つぬを居て居る先アおねがちなほここのみ状でも  
く後で夏休がらうらふおア使ラトおねがちなカウおねがちな  
ろく先初とち初あつた小骨く病を再代ハイ使おア  
おねがちなおねがちなおねがちなアおねがちなおねがちな  
おねがちなアおねがちなおねがちなおねがちなおねがちな  
まき先アおねがちなおねがちなおねがちなおねがちな  
えんねおねがちなおねがちなおねがちなおねがちな





















なつらぬひあふふ冬ふらうそ水碓のききるるすや

切能

貴三つあをふあふふらうそとらるるあは○色と白く目  
あは○鳥のあま一切あふらう○そらけで花物の寝と  
らふす○あせのふらう○小児ふらうそてきされ  
たるふらう○男女のけさささるるふらうたきさとか  
あはふらう○毒虫のささるるはささてぬる付せ  
○蚤退ひの人の床の下ふらう○袂あはれ掛着の代  
とるるふらう

調合所 金幸堂 書 林 菊屋 幸三郎

江戸馬喰町四丁目

金幸堂藏版中形繪入讀本類標目

春曉八幡佳年全十冊 為永春水作 松川國直画

處女教訓黄金菊全十冊 全作 松川國直画

洞房新話系柳全九冊 全作 松川國直画

春宵多佳年通花全十冊 松亭金水作 松川國直画

春色初日出全十冊 為永春雅作 松川國直画

浮世酒屋喜元上戸 三冊 編 東里山人作 松川國直画

松竹梅之けらう全十五冊 三亭春馬作 松川國直画



假名手本簷の梅 全九冊

見振声の巴あへむ石 全五冊

あへ七癖四十八癖

客者評判記金冊 式亭三馬作 歌川國貞画

滑稽水滸傳 一編 三冊 滑

吐乃突出 一九作 全二冊

繪本武勇錦 十返舎一九作

繪本玉田物語 同 全一冊作

繪本小夜衣草紙 同 全一冊作

實語教童子教

正信傳和讃 紋帳

通用手紙自在 十返舎一九作 全一冊

日用妙業集

發子願林集 夢天撰

神皇年代記 一五面 一枚摺

能鳳

改めしは書物事とのまの世の中は多し其の  
人々情懐を合はせしむるは此の如く  
改めしは書物事とのまの世の中は多し其の

山東京傳作 歌川豊國画 故人書物事とのまの世の中は多し其の

式亭三馬作 歌川豊國画 物事とのまの世の中は多し其の

王子詣膝栗毛 十返舎一九作 全二冊

吐乃乃藏入 一九作 全二冊

洛新弥次郎口 一九作 全一冊

繪本五大力 市川團十郎作

繪本稻妻草紙 唐立作

繪本八幡祭 一九作

友道中記 懐中本

伯夷帖 惇信書

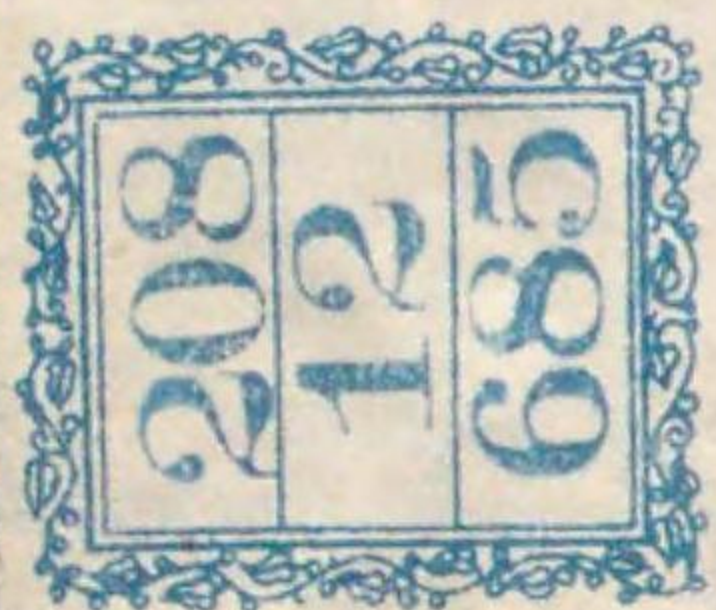
長雄沈園名蹟 長雄沈園名蹟

善色秘傳抄

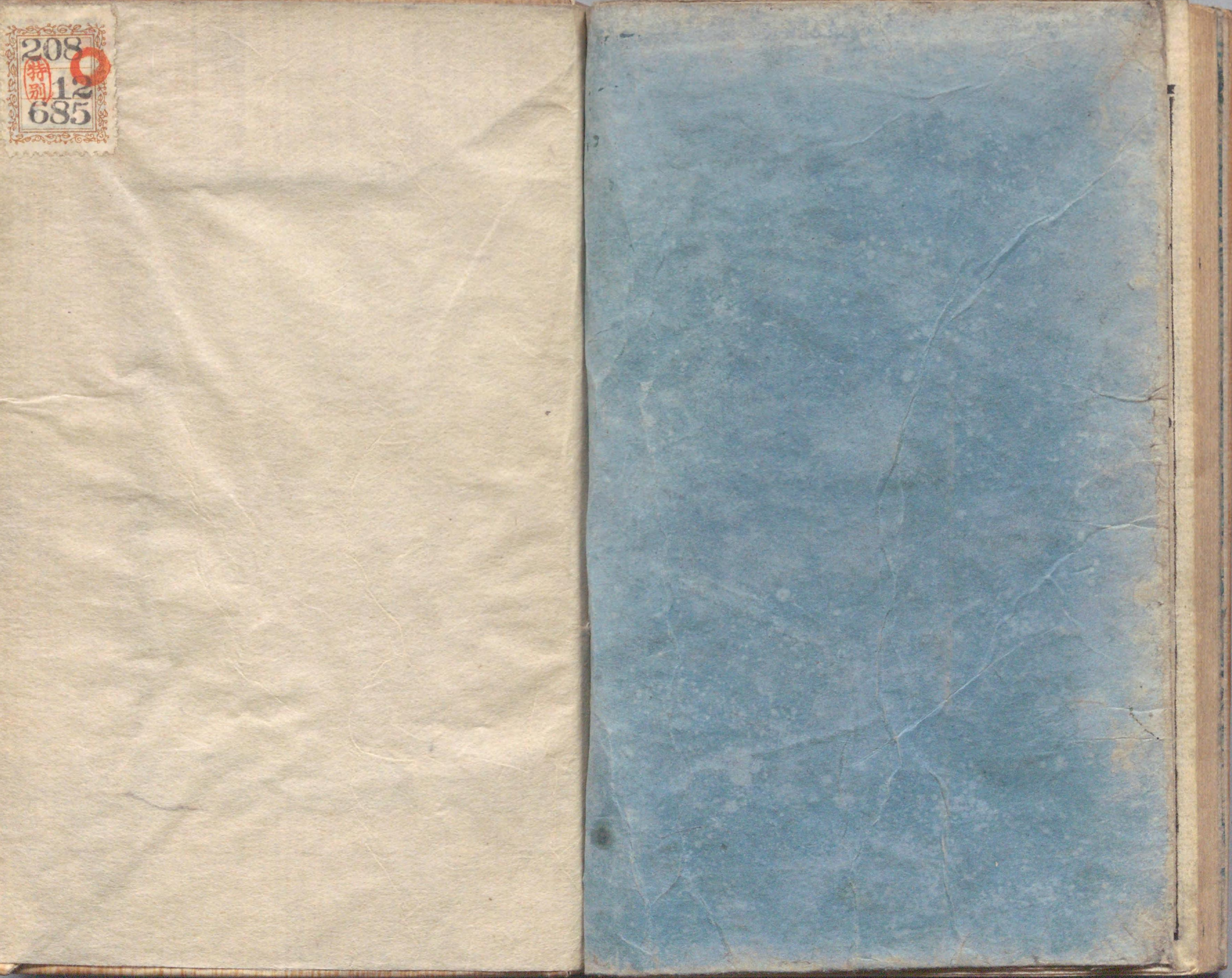
列仙傳画譜

東都書肆 馬喰町四丁目

菊屋幸三郎版



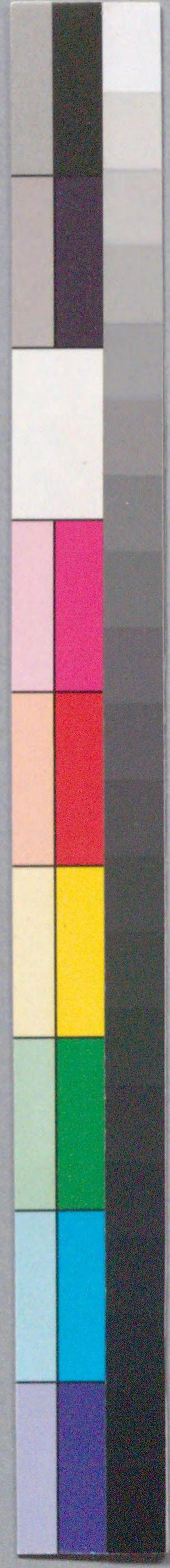




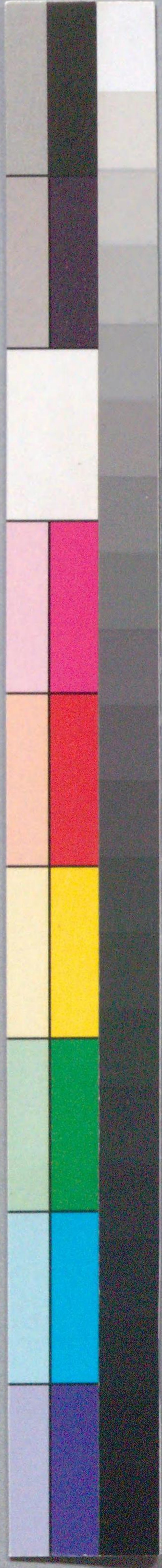
208  
特別  
12  
685

国立国会図書館 春色初旭の出 4編 208-685

ガラス使用







国立国会図書館 春色初旭の出 4編 208-685

ガラス使用

